

# 環境経営レポート



**第9版作成 2025年 3月 21日**



**対象期間 2023年12月～2024年11月**

Earth-Friendly



有限  
会社

**クリーン日向**

目次	1
ご挨拶	2
1. 事業概要	3
1) 事業所名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 法人設立日	3
4) 事業内容	3
5) 環境管理責任者	3
6) 連絡先	3
7) 対象範囲	3
8) 事業規模	3
9) 推進組織図	3
10) 許可の内容	4
11) 施設等の状況	4~5
12) 受託した産業廃棄物の処理実績	5
2. 環境経営方針	6
3. 環境経営目標	7
4. 環境経営目標の実績	7
5. 環境経営計画と取組結果、及びその評価	8
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	9
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟の有無	10
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
9. 二酸化炭素排出量の推移(原単位当り)	10

## ご挨拶

日頃よりのご愛顧に心より感謝申し上げます。

先代がこれからは環境保全の時代が来ると考え、廃棄物処理業、取り分け、ごみ収集の分野を手掛けるようになり、クリーン日向を創業したのは昭和48年でありました。以来、一貫して廃棄物の収集運搬に重点をおき、ごみの減量化から資源化に向けて取り組んでおります。

弊社が創業52年目を迎えられたのも、お取引させて頂いている皆様や弊社の社員のお陰だと存じております。

今後も地域の環境を守り、良くするために誠心誠意努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

有限会社 クリーン日向  
代表取締役 鈴木 雄士

◆産業廃棄物中間処理業（圧縮・減容）、一般廃棄物中間処分（圧縮）

### 社会貢献活動

#### 小さなキャップが繋ぐいのち

弊社の事業活動を伴うことにより集まる飲料水のペットボトルキャップを売却し、売却代金を開発途上国の子供たちにワクチンを贈る取り組みを行っています。

地域の皆さまから寄せられたキャップは当社が売却し責任を持ってワクチンを贈っています。

（注）世界のこどもにワクチンを日本委員会（JCV）を通じて行っています



#### スペシャルオリンピックス活動支援

知的障がいの人たちの自立を支援するスペシャルオリンピックス活動に賛同し応援しています



1) 事業所名及び代表者名  
有限会社 クリーン日向  
代表取締役 鈴木 雄士

2) 所在地

- ・本社 〒883-0034 宮崎県日向市大字富高字荒平5961番地1  
電話 0982-53-3109
- ・中間処理場 〒883-0034 宮崎県日向市大字富高字荒平5961番地1  
電話 0982-53-3109

3) 法人設立日 昭和52年 4月28日

4) 事業内容

- ◆産業廃棄物収集運搬業(積替保管有り)
- ◆一般廃棄物収集運搬業(日向市委託業務、特定家庭用機器含む)
- ◆産業廃棄物中間処理業(圧縮・減容)、一般廃棄物中間処分(圧縮)
- ◆グリストラップ清掃
- ◆側溝・下水管・暗渠等清掃及び浚渫
- ◆排水管清掃・詰り除去
- ◆浄化槽保守点検業

5) 環境管理責任者

EA-21責任者 : 鈴木 吉富 事業部長

6) 連絡先

TEL : 0982-53-3109 FAX : 0982-52-0130  
E-mail : clean@cyber.ocn.ne.jp

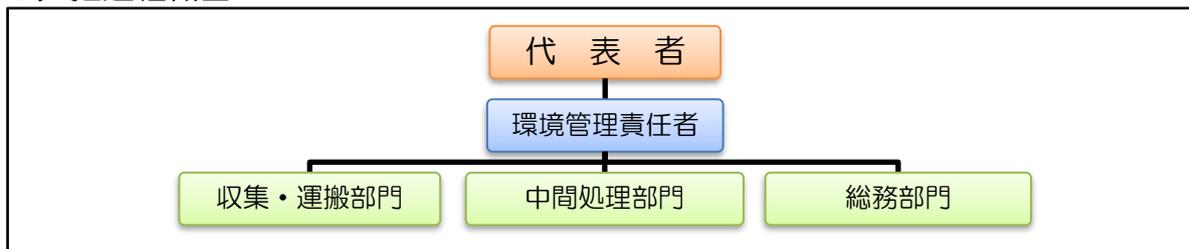
7) 対象範囲

- ・対象組織(全組織) . . . . . 本社・中間処理場
- ・対象活動(全活動) . . . . . 事業内容の全て

8) 事業規模

項目	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
資本金(万)	300	300	300	600	600	600	600	600
売上高(百万)	250	281	260	266	309	325	366	360
産業廃棄物収集運搬量(t)	4,125	4,595	4,503	4,993	4,447	4,831	3,750	3,013
一般廃棄物収集運搬量(t)	3,130	3,181	3,150	3,130	3,370	3,108	2,509	2,430
産業廃棄物中間処理量(t)	163	141	92	113	122	89	86	71
一般廃棄物中間処理量(t)	153	156	147	1.3	1.4	1.5	1.0	0.9
従業員数(企業全体)	44	43	44	49	50	51	48	48
本社事業所床面積(m <sup>2</sup> )	40	40	40	40	40	40	40	40
中間処理場面積(m <sup>2</sup> )	276	276	276	276	276	276	276	276
総面積(m <sup>2</sup> )	304	304	304	304	304	304	304	304

9) 推進組織図



# 10) 許可の内容

## 《許可・登録》

産業廃棄物収集運搬業務			許可品目																				
都道府県 政令市	許可番号	許可年月日 有効年月日	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	繊維くず	紙くず	動物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリートくず、陶器くず	鋳さい	がれき類	家畜ふん尿	家畜の死体	ばいじん	13号廃棄物	
宮崎県	第04517007864	令和05年09月05日 令和10年09月04日	○	○	○			○	○	○	○	○		○	○	○		○	○				
福岡県	第04000007864	令和 6年 8月12日 令和 11年 8月11日		○																			
大分県	第04405007864	令和 2年 8月28日 令和 7年 8月27日	○	○				○	○		○					○							
産業廃棄物処分業(中間処理)			許可品目																				
宮崎県	第04527007864	令和05年09月05日 令和10年09月04日	圧縮					○							○								
			減容					○															

- ◆一般廃棄物収集運搬業 日向市長許可 許日環一般第250101号
- ◆一般廃棄物収集運搬業 延岡市長許可 延資源許可第26号（特定家庭用機器廃棄物）
- ◆一般廃棄物収集運搬業 門川町長許可
- ◆清掃施設使用許可 日向東臼杵広域連合清掃センター許可
- ◆産業廃棄物収集運搬業 宮崎県知事許可 第04517007864号（積替・保管施設有り）
- ◆産業廃棄物収集運搬業 大分県知事許可 04405007864
- ◆産業廃棄物収集運搬業 福岡県知事許可 04000007864
- ◆産業廃棄物処分業 宮崎県知事許可 第04527007864号
- ◆浄化槽保守点検業 宮崎県知事許可 23406402

# 11) 施設等の状況

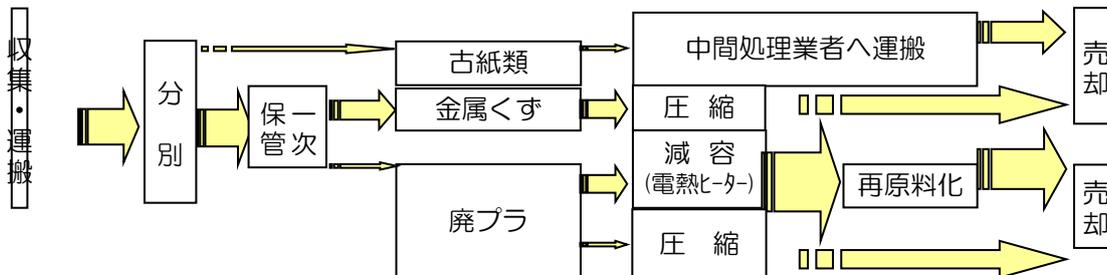
## 《処理方法》

処理方法	施設名	施設住所
減容	減溶施設（廃プラスチック類）	宮崎県日向市大字富高字荒平5961番1
圧縮	圧縮施設（廃プラスチック類）	同 上
圧縮	圧縮施設（金属くず）	同 上

## 《積替保管施設》

総面積(m <sup>2</sup> )	48	保管上限量(m <sup>3</sup> )	54
----------------------	----	------------------------	----

## 《処理工程》



## 《処理能力》

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <b>減溶機（廃プラスチック類）</b><br>・製造元：（株）山本製作所<br>・形式：RE-E502<br>・処理方式：電熱ヒーター式<br>・処理能力：0.4 t/日（8時間） | <b>圧縮機（廃プラスチック類）</b><br>・製造元：鎌長製衝機<br>・形式：PB-100<br>・処理方式：油圧一方締式<br>・処理能力：0.8 t/日（8時間） | <b>圧縮機（空き缶類）</b><br>・製造元：日本マグネティック機<br>・形式：ACP-072-2型<br>・処理方式：油圧二方締式<br>・処理能力 5.76 t/日（8時間） |
|---|--|--|

《収集運搬車両及び営業車》

No.	車 番			車両の種類	台数	積載量
1	宮崎 400	そ	7782	2 t ダンプ車	1	2. 00 t
2	宮崎 130	さ	3109	10 t ダンプ車	1	10. 3 t
3	宮崎 480	け	9352	軽トラック	1	0. 35 t
4	宮崎 480	つ	927	軽トラック	1	0. 35 t
5	宮崎 100	す	8182	3 t パワーゲート車	1	3. 00 t
6	宮崎 100	せ	3666	3 t パワーゲート車	1	3. 00 t
7	宮崎 100	せ	4877	4 t クレーン付トラック車	1	3. 55 t
8	宮崎 100	す	5980	2 t パワーゲート車	1	2. 00 t
9	宮崎 800	は	1467	8 t 強力吸引車	1	3. 50 t
10	宮崎 800	さ	6457	4 t 強力吸引車	1	2. 62 t
11	宮崎 800	さ	8162	3 t 給水車	1	2. 60 t
12	宮崎 800	は	1600	10 t 強力吸引車	1	9. 65 t
13	宮崎 800	す	2636	塵 芥 車	1	3. 40 t
14	宮崎 800	さ	9664	塵 芥 車	1	3. 10 t
15	宮崎 800	す	6024	塵 芥 車	1	1. 40 t
16	宮崎 800	さ	6914	塵 芥 車	1	3. 10 t
17	宮崎 800	す	3818	塵 芥 車	1	2. 95 t
18	宮崎 800	さ	9905	塵 芥 車	1	3. 00 t
19	宮崎 800	す	650	塵 芥 車	1	3. 10 t
20	宮崎 800	す	1546	塵 芥 車	1	2. 95 t
21	宮崎 800	す	1554	塵 芥 車	1	3. 25 t
22	宮崎 800	す	2011	塵 芥 車	1	3. 35 t
23	宮崎 800	す	6190	塵 芥 車	1	3. 30 t
24	宮崎 800	す	3199	塵 芥 車	1	2. 90 t
25	宮崎 800	す	4023	塵 芥 車	1	2. 85 t
26	宮崎 800	す	4601	塵 芥 車	1	3. 30 t
27	宮崎 100	は	2940	脱着装置付コンテナ専用車	1	7. 60 t
28	宮崎 100	は	3947	脱着装置付コンテナ専用車	1	7. 80 t
29	宮崎 100	す	6932	2 t アルミバン車	1	2. 00 t
合 計					29	
営業車					7	
	宮崎 800	す	4,683	塵 芥 車	1	2. 85 t
	宮崎 800	す	6288	4 t 高圧洗浄車	1	2. 55 t
合 計					9	

1 2) 受託した廃棄物の処理実績(収集運搬・中間処理)

2023年12月~2024年11月

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)	
(i) 収集運搬	産業廃棄物		3,013.10	
	一般廃棄物		2,429.51	
収集運搬量合計			5,442.61	
(ii) 中間処理	産業廃棄物	圧縮・減溶	71.40	
	一般廃棄物	圧縮・減溶	0.87	
うち 再資源化等	産業廃棄物	圧縮・減溶		
	一般廃棄物	圧縮・減溶		
	再資源化等量小計		0.0	
中間処理合計			72.27	
(iii) 最終処分			0.00	
最終処分量合計			0.00	
(iv) 中間 処理後の産 業廃棄物	最終処分		0.00	
	再資源化等	産業廃棄物	圧縮・減溶	71.40
		一般廃棄物	圧縮・減溶	0.87
	再資源化等量小計		72.27	
中間処理後処分量合計			72.27	

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針



### 【基本理念】

限りある資源と美しい地球環境を守るために  
「資源循環型の社会づくり」を目指し地域社会に貢献する

### 【活動内容】

1. 環境経営に積極的に取り組むため、EA21マゼットシステムを構築して、継続的改善に努めます。
2. 事業活動に関連する法令・条例・その他、地域との取決め事項等を遵守し、自然環境や資源の保護に努めます。
3. 事業活動から発生する以下の環境負荷の低減に優先的に取り組みます。
  - ①. 電力・化石燃料などの節減による、二酸化炭素排出量の削減
  - ②. 受託した廃棄物や事業活動から発生する廃棄物の削減とリサイクル推進
  - ③. 節水活動などによる水資源使用量の節減
4. 効率的、且つ働きやすい作業環境づくりに取り組みます。
5. 環境に配慮した廃棄物の処理を推進し、可能な限り再資源化に取り組めます。
6. 地域の環境活動や施策に積極的に参画して協力します。

以上は全従業員へ周知し、環境活動レポートで積極的に公表します。

制定 2016年12月10日  
改定 2019年12月 1日  
改定 2021年 7月 1日  
有限会社 クリーン日向  
代表取締役 鈴木 雄士

### 3. 環境経営目標

改定：2023年1月20日

取組み項目	実施区	基準値 2020年12月～ 2022年11月 の実績	第三次中期経営目標			
			2023年度 (2022年12月～ 2023年11月)	2024年度 (2023年12月～ 2024年11月)	2025年度 (2024年12月～ 2025年11月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	全社	339,751	336,354	332,956	329,559	
省エネルギー項目	①電力使用量の削減 (kWh)	事務所	8,795	8,707	8,619	8,531
		処理場	11,076	10,965	10,854	10,743
		全社	19,870	19,671	19,473	19,274
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	7,081	7,010	6,939	6,868
		③軽油消費量の削減 (L)	収集運搬	121,281	120,068	118,855
		処理場	1,020	1,010	1,000	989
全社		122,301	121,077	119,854	118,631	
2. 一般廃棄物(焼却)の削減 (kg)	本社	59.5	58.9	58.3	57.7	
3. 受託した廃棄物の環境配慮	現業		該当する環境経営計画の遵守			
4. 水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	全社	570.5	564.8	559.1	553.4	

\* 受託した廃棄物の環境配慮は、受託廃棄物の収集運搬にかかる活動計画の遵守を目標としています。

\* 一般廃棄物は、分別後に焼却処分となる最終処分量の削減を目標とします。

### 4. 環境経営目標の実績

\* 2023年12月から2024年11月までの1年間の実績は以下の通りです。

取組み項目	実施区	目標	実績	達成率	評価	
二酸化炭素排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	全社	332,956	335,738	99.2%	△	
省エネ項目	①電力使用量の削減 (kWh)	事務所	8,619	8,816	97.8%	△
		処理場	10,854	11,157	97.3%	△
		全社	19,473	19,973	97.5%	△
②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	6,939	6,861	101.1%	○	
	③軽油消費量の削減	収集運搬	118,855	119,777	99.2%	△
		処理場	1,000	1,150	86.9%	△
	全社	119,855	120,927	99.1%	△	
2. 一般廃棄物(焼却)の削減 (kg)	本社	58.3	58.0	100.5%	○	
3. 受託した廃棄物の環境配慮	現業	環境活動計画の遵守	順守しています	—	○	
4. 水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	全社	559.1	495.0	123.7%	○	

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の調整後排出係数0.392kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。

\* 事務所のLPGを含む二酸化炭素総排出量は、335,833.3 kg-CO<sub>2</sub>です。

\* 評価は、達成率100%が○、80%以上が△、80%未満が×としています。

## 5.環境経営計画と取組結果、及びその評価

取組項目	活動内容	取組結果	評価
・電気使用量の削減	①不要・不在箇所の電気の消灯	昼休みの消灯やITの温度管理等を徹底して節電を図っているが、酷暑の夏場にITの使用が増えて、事務所の年間目標達成率が97.8%となった。又、処理場もこまめな電源OFFを徹底して節電を図ったが、夏場に処理量が急増したことで電気使用量が増加して、年間では97.3%の目標未達成となった。今後もこまめな電源ON・OFF、ITの温度管理の徹底、ブラインド等の利用などで節電を図る。	○
	②パソコン等のOA機器は省電力設定に設定する		○
	③空調の適温化(夏28℃程度、冬22℃程度)		△
	④ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調整する。		○
	⑤中間処理機械の主電源OFFの徹底		○
・ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ、早めのアクセルなど)	営業車両の増車と遠方等を含めた活発な営業活動等でガソリン使用量が増えた時期もあったが、エコドライブや効率的な運搬ルート使用、必要な機材のみの積み込み等々徹底して、事務所のガソリンは101.1%の目標達成。今後も、効率的な運行計画や不要なものを積んだままの運行をしない、エコドライブ等は今後も徹底していく。	○
	②効率的な運搬ルートの走行		○
	③タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値を保つように努めている		○
	④ unnecessary資材・機材を積載しての車両利用しない		○
・軽油消費量の削減	①車両運転時は、過剰な負荷を掛けないようにソフトスタートを心がける	収集運搬量の増加はなかったが、前年に収集運搬車を2台増車した事と、収集運搬距離が大幅に伸びた事などで、収集運搬部門の軽油消費量が99.2%の目標未達成。又、処理場内整理等で、処理場の達成率は86.9%の未達成となった。ソフトスタートや効率的な運搬ルート走行、事前段取りによるUターン防止等は徹底できている。	○
	②効率的な運搬ルートの走行		○
	③事前段取りの徹底によるUターン防止		○
・一般廃棄物(焼却処分量)の削減	①コピーは裏紙使用や両面コピー、縮小コピーに努める	一般廃棄物は廃棄の都度、計量して記録している。文書類は出来るだけA4にカットせずに画面で確認したり、不要になった書類の裏面利用等で紙-用紙等の節減を図って、分別後の最終処分量(焼却)は58kgで100.5%の目標達成となった。	○
	②資源物を再生利用できるように分別する		○
	③資材梱包材の業者持帰り依頼		○
・水資源使用量の削減	①蛇口付近に「節水」を意識させるシール等を貼付る	3ヶ月毎の漏水点検を徹底して実施している。又、蛇口には節水ノールを貼って節水意識の高揚を図り、専用洗車場を設けて車両の美化を図っているが、水は雨水を極力利用したり、泥を落として洗車するなどの節水活動を徹底して123.7%の目標達成となった。	○
	②水道配管からの漏水を定期的に点検する		○
	③車両や機械の洗車は必要最小限にとどめる		○
・受託廃棄物の環境配慮	①飛散・落下・流出が無いよう、正規な容器使用及び確実な積み込みを行う	収集運搬車両の清掃及び場内の清掃は常に行い、近隣へ悪臭等が出ないように清潔な状態を保っている。収集運搬業務については、最短ルートでの運搬とエコドライブを徹底している。処理場での作業も中間処理機械に防音壁設置等を行い、騒音発生に対する配慮もしている。	○
	②収集運搬ルートは出来る限り最短ルートとする		○
	③収集運搬車両のエコ運転を徹底する(エコドライブの徹底)		○
	④騒音、振動に配慮した作業を推進する		○

## 6.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

取組項目	次年度の目標 (2025年度)	次年度の活動内容
二酸化炭素 排出量の削減	329,559 kg-CO2 以下	電気や化石燃料等、エネルギー消費量の節減活動
・電気使用量 の削減	・事務所 8,531 kWh 以内  ・処理場 10,743 kWh 以内	①不要・不在箇所の電気の消灯
		②パソコン等のOA機器は省電力設定に設定する
		③空調の適温化(夏28℃程度、冬22℃程度)
		④ファンライトやカーテンの利用等により、熱の出入りを調整する。
		⑤中間処理機械の主電源OFFの徹底
・ガソリン使用 量の削減	・事務所 6,868 L 以内	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ、早めのアクセルなど)
		②効率的な運搬ルートの走行
		③タイヤの空気圧を定期的を確認し、適正値を保つように努める
		④不必要な資材・機材を積載しての車両利用しない
・軽油使用量 の削減	・収集運搬 117,642 L 以内  ・処理場 989 L 以内	①車両運転時は、過剰な負荷を掛けないようにシフトスタートを心がける
		②効率的な運搬ルートの走行
		③事前段取りの徹底によるUターン防止
・一般廃棄物 (焼却処分量) の削減	・事務所 57.7 kg 以内	①コピーは裏紙使用や両面コピー、縮小コピーに努める
		②資源物を再生利用できるように分別している
		③資材梱包材の業者持帰り依頼
・水資源使用 量の削減	・事務所 553.4 m <sup>3</sup> 以内	①蛇口付近に「節水」を意識させるシール等を貼付る
		②水道配管からの漏水を定期的に点検する
		③車両や機械の洗車は必要最小限にとどめる
・受託廃棄物の 環境配慮	・収集運搬の 経営計画の遵守	①飛散・落下・流出が無いよう、正規な容器使用及び確実な積み込みを行う
		②収集運搬ルートは出来る限り最短ルートとする
		③収集運搬車両のエコ運転を徹底する(エコドライブの徹底)
		④騒音、振動に配慮した作業を推進する

取組内容を徹底するために次年度も前年と同じ活動内容で取り組めますが、社会の情勢や会社の状況の変化、及び効果的・効率的な活動がある場合は適宜見直します。

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に係る環境関連法規制、及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の遵守状況を確認した結果、以前から違反などは全くありません。

また、関係当局からの指摘や地域住民からの訴訟などありませんでした。

当社の事業に関する主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

法規名	主な内容	遵守評価
廃掃法	・ 運搬中の飛散、流出防止、悪臭、騒音等生じない措置	遵守
	・ 各票は管理票交付日から期限内に排出事業者へ返却する	遵守
	・ 収集運搬管理台帳の記録保管 ・ 中間処理台帳の記録保管	遵守
	・ 再委託禁止	遵守
	・ 処理困難な場合の委託者への通知	遵守
リサイクル法	・ 使用済み物品等の再生資源・再生部品としての利用の促進 ・ 使用済みの製品、副産物等の再利用、再生資源・再生部品としての利用促進	遵守
家電 リサイクル法	・ 冷蔵庫、エイト型I777、洗濯機、テレビ（液晶・プラズマ）、衣類乾燥機、等の特別推進	遵守
707排出抑制法	・ 定格出力7.5kW未満の業務用I777の簡易点検と記録の保管	遵守
消防法	・ 電気・ガスによる溶接、溶断作業、アスファルト等の溶解作業	遵守
産業廃棄物処理施設設置事前協議	・ 減容施設設置について宮崎県知事(日向保健所)との取り決めの遵守	遵守

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21環境活動に取り組み始めて9年目となる今年度は、収集運搬はやや減少しましたが収集運搬距離が延びた為、処理量当たりの二酸化炭素排出量が増加して99.2%の達成率となりました。ただ、売上高当りでは減少しています。このように、収集運搬量や運搬距離によって環境負荷が増えてきますが、この結果は全社員が環境活動の意義と重要性を理解して行動した結果と捉えています。これからも弊社の実情に合った取り組みと、社員による改善提案等で継続的な改善に努め、弊社のスローガンに掲げる『自然と人間のよりよき調和を目指し、廃棄型社会から循環型社会へ』が実現できるように、全社員一丸となってエコアクション21環境活動に継続して取り組む所存です。

## 9. 二酸化炭素排出量(kg-CO2)の推移

